



2018.04.23

第 57 回 ミラノサローネ国際家具見本市 閉幕リリース Salone del Mobile.Milano 2018

第 57 回ミラノサローネ国際家具見本市/Salone del Mobile.Milano (以下、ミラノサローネ)は、初日から熱気に包まれ、6 日間で **188 カ国以上**から **435,065 人** の来場者を集客、同じ隔年開催見本市(キッチンとバスルームの見本市)のあった **2016 年と比べ 17 %増、前年比 26%増**を記録しました。

今年のミラノサローネは、従来の展示に加え、**企業の歴史や最高のプロダクトを生み出す企業のチームワーク**が浮き彫りになった年でした。

「ミラノサローネ出展企業の質の高さが業界の中でミラノサローネを世界の基準点とし、見本市を成功に導いたことを大変誇りに思う。産業と行政が協力し合い、文化と企業がイタリアを牽引し、唯一無二のイベントを生み出している。まるで劇場の舞台のように訪れる人を虜にする空間展示を通して、クリエイティブで革新的で質の高いプロダクトが会場を埋め尽くしました。そしていま、企業とマーケットの需要に応えリーダーシップを維持しながら、既に次の開催に向けての準備に取りかかっています。」とミラノサローネのプレジデント、クラウディオ・ルーティ氏は閉幕のコメントを述べました。

企業とミラノ市の友好な関係のお陰で毎年、ミラノサローネとイタリア家具業界が政府と行政機関から支援を受け、見本市がイタリア経済の原動力の一つとなっています。57 回目となった今年は、家具とデザインの国際イベントとしての不動の地位を築きました。

サローネ国際家具見本市、サローネ国際インテリア小物見本市、エウロクチーナ、サローネ国際バスルーム見本市の総出展社数 **1,841社**のうち、国外からは全体の**27%**にあたる**33カ国**から出展、35歳以下若手デザイナー展示、サローネサテリテには**650名**のデザイナーが参加しました。

ミラノサローネの親会社である**イタリア家具工業連盟/ FederlegnoArredo** の会長であり、ミラノサローネ運営会社の**FLA Eventi社/Federlegno Arredo Eventi** の社長、**エマヌエーレ・オルジーニ**のコメント:

「この57回目は、一年で最も重要な一週間、最高のイタリアデザインを促進するために貢献した企業の努力に報いた結果となりました。政府の惜しみない協力から、国の繁栄に不可欠な木工家具部門を重要視してくれていることがうかがい知れます。有機的で効果的な産業政策を立てる必要性を主張するメイド・イン・イタリアはまだ、GDPの5%にしか値しません。ミラノサローネの成功は、新たな活力でマーケットの課題に対応しながら、企業の成長に一層刺激を与えてくれることでしょう。」

ミラノ市内で開催中の**カルロ・ラッティ・アソチアーティ (Carlo Ratti Associati/ CRA)** によるデザインとエンジニアと植物の特別展示、「**リビングネイチャー/ La natura dell'abitare**」は、一日平均 **2,000 人** を超す来場者を集客し大成功を収めています。4 月 25 日まで引き続き



開催しています。イベント終了後は、23 種全ての樹木や植物、ヒマラヤ杉から野菜まで、ミラノ市に寄贈されます。

会期中、ミラノ市の多大なる協力のもと特別な会が開催されました。1 つはミラノ王宮のカリアティディの間で行われた前夜祭、「ガラ・ディナー」、もう一つはミラノ市庁舎、パラッツォ・マリーノで行われた「ミラノサローネ・アワード」でした。アワードはミラノ市長、ジュゼッペ・サラによる招待によるもので、ルーティ社長は出展者やサローネ関係者を迎え盛大な祝賀会となりました。

第3回目となったミラノサローネ・アワード/ Salone del Mobile.Milano Award では、CC-タピス/CC-Tapis、マジス/Magis とサンワカンパニーが順位なく同等で受賞しました。また、Riva 1920 のマウリツィオ・リーヴァ氏に特別賞、ミラノ市長にミプレジデント賞が授与されました。

次回ミラノサローネは、隔年開催見本市 エウロルーチェ と Workplace 3.0 と共に 2019 年 4 月 9 日(火)～14 日(日) 開催予定です。

Salone del Mobile.Milano Japan Press PR

Yuki Yamamoto - yuki@milanosalone.com - www.milanosalone.com